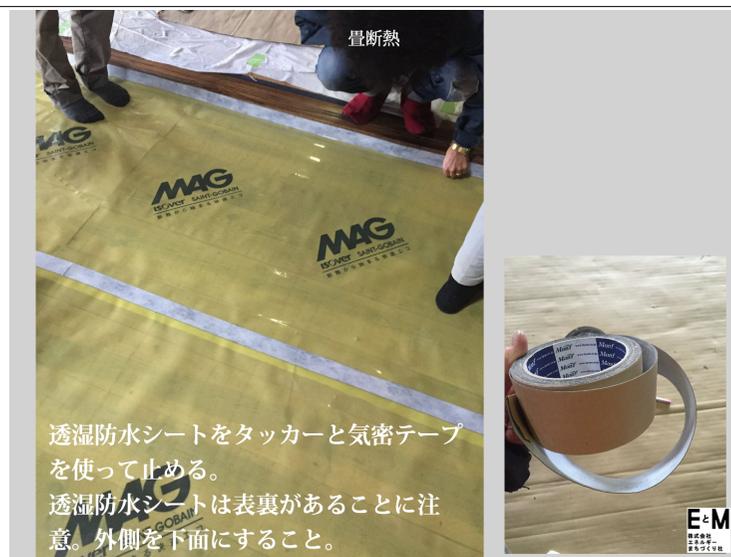




引合わせ部分や、障子小口には、仕上がり精度に合わせて、ピンチブロックやモヘアをつける。



畳は経年変化で敷居から少し下がっている。その段差を利用して、透湿防水シートと4ミリの断熱材を敷き込む。板の上に畳をあげると板の間になるという仕組みを理解することは、基本を学ぶ良いきっかけ。



透湿防水シートをタッカーと気密テープを使って止める。透湿防水シートは表裏があることに注意。外側を下面にすること。



敷居を利用してしっかりとシートを立上げ、タッカーで仮留める。そのあと立上り部分にて気密テープで留める。シートは重ね代を取り気密テープで留めること。気密を理解する。



# 学校の断熱改修

